



愛と創造

山形市立第十中学校
学校だより
H29. 1.25 NO.9

3 学期始業式から・・・

校長 星 淳一

今年は酉年。干支（えと）で言えば「丁酉」（ひのととり）です。「丁酉」は、「目の前に現れた仕事や勝負を勝ち取る」という意味があるそうです。苦しい戦いもありますが、最後には勝利を手に入れることができるでしょう。ですから、今年は是非たくましく力強く挑戦して行ってほしいです。

さて、皆さんも、新年を迎えて、今年の「目標」を立てたと思います。今日の始業式では、皆さんが立てた目標を達成するための話をします。目標を達成するためには、二つの目が必要です。

まず、「虫の目」。もう一つは今年の干支である「鳥の目」です。今日は、とくに3年生のために受験の例を挙げて説明しますが、物事の全てにあてはまりますので、そのつもりで理解して下さい。

この「虫」とは蟻を指しています。平面を這う蟻は、自分がいる周囲しか見ることができません。しかし、低い位置にいるからこそ実際に触ったり、間近で見たりして、対象を正確に分析できます。同じように、君達が立てた今年の目標も、「虫の目」で目標を分析し、より具体的な行動目標に変換してみることが有効です。

12月の学校便りに私はこんな事を書きました。

「3年生にYELL」・・・もし、受験勉強が不安で不安でたまらない人がいたら、「結果の目標から毎日の行動目標に」すべきです。「〇〇高校合格」のような結果目標だと、出口が見えない「不安の迷路」に迷い込んでしまう可能性があります。だから、日々の行動目標に変換すべきだということです。今日は「～ができるようになる」という目標です。例えば「今日は、この問題集のこのページが解けるようになる、あるいは覚える」などです。不安な人は、あまり先々を考えず、目の前のことに集中すべきです、

「高校合格」という結果目標を「虫の目」で細かく見直して、目の前の行動につなげるというやり方です。

もう一つは「鳥の目」です。鳥は空を飛んで高いところから、目標の方向を見定めることができます。例えば、「高校に合格する」という目標を、鳥の目で見るとどうなるでしょうか？・・・「高校合格」という目標は、人生全体から見渡すと、かなり手前の目標です。もう少し先を見た方が良くも分かります。例えば「高校合格」から「将来つきたいの職業」などと置き換えてみます。そうすると、そこに到達する道は、一本だけではないことがわかります。「〇〇高校合格」ということは、その中の「選択肢の一つ」ということがわかるのです。ですから「この高校に入らないと未来はない」などと考える必要もなくなります。

このように、「虫の目」「鳥の目」の両方の目を持つことで、身動きが取れなくなっていた自分の心に、少し余裕が生まれることでしょう。また、目標が自分にとってどんな意味があるのか、ということがわかることで、紙に書いただけの目標から、生きた目標になりえることでしょう。

3学期は0学期、平成29年度はもう始まっています。鳥の目、虫の目を使って、目標達成していきましょう。

//////////////////////////////////// **栄光の記録** //////////////////////////////////////

◆アンサンブルコンテスト村山地区大会(12/17)

金管八重奏	金賞	(県大会出場)
フルート三重奏	金賞	(”)
クラリネット八重奏	銀賞	

◆全日本アンサンブルコンテスト 第40回山形県大会(1/14)

金管八重奏	金賞	(東北大会出場)
フルート三重奏	銀賞	

◆山形市中学校読書感想画コンクール(1/10)

1年	優良
2年	優良
2年	佳作
2年	佳作

◎車いす贈呈式 (12月22日)

ボランティア活動の一環として、生徒会ではアルミ缶の回収を行ってきました。今年は、車いす1台を特別養護老人ホーム「みこころの園」に贈呈することができました。



◎学校だより NO8 に「年金ポスターコンクール」の表彰者を掲載しましたが、1/23 に本校校長室で表彰式が行われました。山形年金事務所長さんが来校して下さり、直接表彰していただきました。

- ・ 社会保険協会長賞 2年
- ・ 入選 3年